

科目区分	専門分野	授業科目	医療安全
講師名	平田 洋子	開講年次	2 年次 第 2 学期
単位数（時間）	1 単位（15 時間）		
授業概要 * 講師からのメッセージ	看護師は、診療の補助、診療の世話と、他の医療職よりもはるかに多様な業務を担当する。とくに急性期医療の現場では、医療の進歩で診療の補助は、ますます高度化・複雑化し診療上の世話においても、患者の高齢化で一層繊細な気遣いが求められていることから、安全な医療・看護の提供の基礎を学んでほしい。		
目的：安全な医療・看護の基礎的知識を理解する			
目標：1. 危険予測できる知識を理解できる			
2. ヒューマンエラー、システム管理の視点から事故分析できる基礎的知識を理解できる			
3. 医療システム（組織）の中の危険要因を知り、安全なシステムの構築における看護の役割を理解できる			
回	授 業 内 容		
1 【演習】	1. 医療安全の基本的な考え方 1) 医療事故とは何か 2) 患者への影響度による医療事故レベルの分類		
2～3 【演習】	1. 医療安全の基本的な考え方 1) 国の医療安全対策、組織の医療安全対策 2. インシデント アクシデントについて 1) インシデントレポートの意義と活用 2) 事故が生じた際の対応 報告 レポート 3) 事故防止、事故後の対応 * 針刺し事故の事例で検討する 3. 患者の誤認防止、転倒・転落・外傷予防対策 4. 事故発生のメカニズム 5. ヒューマンエラーとヒューマンファクター、 6. P m S H E L モデル		
4～5 【グループワーク】	1. 看護における医療安全と安全対策 1) 看護業務の特徴的な環境とリスク 2) 多重課題の特長と対応 3) 医療事故の種類		
6～7 【演習】	1. 医療事故の事故分析と対応 1) 危険予知トレーニングの理論と方法 2) 事例分析 病院内（ベッド周囲）の事故について		
8	1 時間（45 分）：終了試験		
授業方法	講義・演習		
評価方法	筆記試験（90%）、授業参加度・レポート（10%）		
テキスト			
備考			